

ECE

## ECCOBOND 87H(NF) No.3-2-16A

## 一液性溶剤形接着剤

## E&amp;C エンジニアリング株式会社

本社：〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-16-1  
TEL：045(471)4791(代) FAX：045(471)4798  
大阪営業所：〒534-0024 大阪市都島区東野田町3-2-33  
TEL：06(6358)2977(代) FAX：06(6358)4978  
北海道工場：〒069-1507 北海道夕張郡栗山町旭台  
TEL：01237(2)1211(代) FAX：01237(2)1212

ECCOBOND 87H(NF)は一液性、汎用溶剤形接着材で、硬化後には難燃性を示します。本品はネオプレン、天然ならびに合成ゴム、ナイロン、木材、ガラス、セラミック、およびほとんどのプラスチック材に良好な接着をいたします。

コネクタのポッティングにエポキシを使用した際にはネオプレンの鎧装ケーブルのプライマーとして使用されています。ナイロンならびに接着困難なその他の材料の場合には、エポキシへの接着を改善するためECCOBOND 87H(NF)で前処理をすることができます。本品は例えば電波吸収体の難燃安全性を維持しなければならないような電波暗室の場合には壁面に発泡電波吸収体を貼り付ける場合に使用されます。

## 準備

発泡電波吸収体および同様な多孔質表面を除く、ECCOBOND 87H(NF)で接着すべき全ての表面からオイル、グリースおよび異物を取り除いてください。トルエン(塩素化無機溶剤)に浸した清潔な布で拭い取るだけで普通は十分です。換気の良い場所で使用して下さい。本蒸気の過度な吸入は避けて下さい。

## 使用方法

ECCOBOND 87H(NF)はブラシ、スプレー、またはローラーコートで塗布できます。粘度を下げるためには、トルエンで稀釈してください。スプレーの場合にはプレッシャータイプのポットスプレーガンがおすすめできます。Devilbiss式フルイドチップとニードルタイプFFを用いる時はポット圧は0.70～1.06Kg/cm<sup>2</sup>、噴霧圧は5.62Kg/cm<sup>2</sup>で良好な結果が得られるでしょう。

## 一般的接着手順

被着面はスプレーするかブラシ塗りをしなければなりません。最良の接着をさせるためには、一面は指触乾燥程度に、他面は両面を接合した時粘着性があるようにすることが必要です。例えば電波暗室の壁面に発泡電波吸収体を接着させる時には、壁面を最初に塗ってから乾かします。その乾燥には約20分間を要するでしょう。発泡電波吸収体の裏面はスプレーしてから数分間は粘着性を保っているため、この間に壁面に貼り付けます。粘着性塗布面が乾燥塗布面を活性化します。全ての場合接合面に対しての良好な接触を与えるようにするために十分な圧力を加えてください。粘着期間を越えるか、または適当な活性化を計るために余りに乾燥しすぎた塗布面はトルエンをブラシ塗るか、または一寸スプレーすることでフレッシュにすることができます。

## プライマーとしての用途

希望する濃度にまで薄め、被着面にブラシ塗りして下さい。非常に薄く塗ることが肝心です。乾燥させても良いがその間前処理した表面が一層適度粘着をします。

## 代表的特性とアプリケーションデータ

カラー、濃度	イエロー、薄いシロップ状
粘度cps @ 25	600～1,000
固体成分(概略)%	18
引火点	4
比重	1.14
相溶性溶剤	塩化メチレン及びトルエン
概算塗布面積	0.5Kg/m <sup>2</sup>
可使用期間	25以下の温度で密封容器で貯蔵した場合6ヶ月
ルール66	合格
剥離強さ(72hrs後)Kg/cm <sup>2</sup>	1.4
使用温度	-54～+107
体積抵抗 cm	10 <sup>12</sup>
絶縁破壊強さ(Volts/mil)	300

## 保証事項

この技術資料に記載された情報は、まったく信頼できるものと信じますが、法律的な責任を伴う保証事項ではなく、またライセンスなしに特許新案を取得するための許可あるいは推奨とみなされるものでもありません。

本資料中の情報は、研究・調査・検査のために提供されるものです。

ECCOBONDは日本エイブルステック株式会社の登録商標です。